Sony Music Foundation
公益財団法人ソニー音楽財団

PRESS RELEASE

2022.11.7

公益財団法人ソニー音楽財団
（Sony Music Foundation）

“炎のマエストロ”小林研一郎と若き新鋭のヴァイオリニスト
周防亮介が贈る「日本赤十字社 献血チャリティ・コンサート
～情熱のチャイコフスキー～」2023 年 1 月 8 日開催

公益財団法人ソニー音楽財団(所在地：東京都千代田区、理事長：水野道訓、英文名称：Sony Music Foundation)は、2023 年 1 月 8 日(日)、サントリーホールにて「第 66 回 日本赤十字社 献血チャリティ・コンサート ～情熱のチャイコフスキー～」を開催いたします。今回は“炎のマエストロ”、通称コバケンの名で知られる小林研一郎がタクトをとり、コバケン自身が演奏を大絶賛するヴァイオリニストの若き新鋭 周防亮介と、過去に正指揮者を務めた東京都交響楽団とともに、四大ヴァイオリン協奏曲のひとつとも言われるチャイコフスキーの協奏曲を披露する他、情熱的なオール・チャイコフスキー・プログラムをお届けいたします。

小林研一郎（指揮）
©山本倫子

東京都交響楽団（管弦楽）

周防亮介（ヴァイオリン）
©松尾淳一郎

毎年恒例の当コンサート・シリーズは、クラシック音楽の王道曲・人気曲の本格的な演奏を手頃な値段で楽しんでいただきながら、チャリティ活動にも参加できるコンサートです。HIV/AIDS問題をきっかけに大きく社会問題化された「献血」に対する認識をより一層高めるために、1990年にスタートし、今回で66回目の開催となります。収益の一部は日本赤十字社へ寄付され、献血運搬車の購入・整備資金に充てられます。【2021年度(第65回)までの累計寄付金額：113,405,892円】

今回は、多くの青少年に上質なクラシック音楽に親しんでいただくため、新たに「ユースチケット」を設定いたしました。小学生から18才以下を対象として、P席を除く全席種を50％割引いたします。
コンサート前半は、緻密で本質的な音楽解釈とドラマティックな表現力で大きな注目を浴びているヴァイオリニ

スト周防亮介をソリストに迎え、チャイコフスキーによる至極の名作、ヴァイオリン協奏曲をお届けします。情熱的な盛り上がりと甘美な旋律、そして超絶技巧の数々をご堪能いただけます。後半は、重厚なファンファーレが象徴的であり、チャイコフスキーの交響曲の中でも最も情動的な作品「交響曲第4番」を、数々の名演を残している小林研一郎＆東京都交響楽団のコンビでお贈りいたします。

“クラシック音楽の殿堂”サントリーホールでの昼下がり、新年の幕開けに相応しい贅沢な時間をお楽しみください。なお、当公演は政府および東京都から発出されるイベント開催制限を遵守して開催いたします。

【公演概要】
◆タイトル
第66回 日本赤十字社 献血チャリティ・コンサート ～情熱のチャイコフスキー～

◆公演日時
2023年1月8日(日)14:00開演(13:15開場)

◆会場
サントリーホール 大ホール(東京都港区赤坂1-13-1)

◆発売日
先行発売：2022年11月9日(水)～11月15日(火)［ソニー音楽財団・イープラス・チケットぴあ］
一般発売：2022年11月16日(水)

◆チケット情報(全席指定・税込)
S席：6,000円／A席：4,500円／B席：3,000円／P席：2,000円
◇ユースチケット(小学生～18才)：各席種50％引き(P席を除く)
※年齢は公演日時点。来場時に年齢が確認できる証明書をご携帯ください。
※ソニー音楽財団オンラインチケットのみでの取り扱い。

◆出演
小林研一郎(指揮)
周防亮介(ヴァイオリン)*
東京都交響楽団(管弦楽)
※プロフィール：別資料

◆演奏予定曲
チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲*
チャイコフスキー：交響曲第4番
※やむを得ない理由により、曲目・演奏者など公演内容が変更となる場合がございます。

◆主催
公益財団法人ソニー音楽財団(Sony Music Foundation)

◆共催
公益財団法人東京都交響楽団

◆後援
日本赤十字社

◆チケット取扱い
・ソニー音楽財団オンラインチケット　https://www.smf.or.jp/
・イープラス　https://eplus.jp/
・チケットぴあ　https://t.pia.jp/
・サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017（休館日を除く10:00～18:00）
・都響ガイド https://www.tmso.or.jp/ 0570-056-057（平日10:00～18:00）

◆お問い合わせ
公益財団法人ソニー音楽財団（Sony Music Foundation）03-3515-5261（平日10:00～18:00）

【財団概要】
名称：公益財団法人ソニー音楽財団（Sony Music Foundation）
理事長：水野道訓
設立：1984年10月2日
所在地：〒102-8353　東京都千代田区六番町 4-5　SME 六番町ビル
URL：https://www.smf.or.jp/

日本赤十字社 献血チャリティ・コンサート ～情熱のチャイコフスキー～

2023年1月8日（日）サントリーホール 大ホール

【出演者プロフィール】

●小林 研一郎（指揮）Ken-ichiro KOBAYASHI, Conductor

“炎のコバケン”の愛称で親しまれる日本を代表する指揮者。東京藝術大学作曲科、及び指揮科の両科を卒業。1974年 第１回ブタペスト国際指揮者コンクール第一位、及び特別賞を受賞。2002年プラハの春音楽祭では東洋人初のオープニング「わが祖国」を指揮して万雷の拍手を浴びた。

これまでにハンガリー国立フィル、チェコ・フィル、アーネム・フィル、ロイヤル・コンセルトヘボウ管、フランス国立放送フィル、ローマ・サンタ・チェチーリア国立管、ロンドン・フィル、ハンガリー放送響、N響、読響、日本フィル、都響等の名立たるオーケストラと共演を重ね、数多くのポジションを歴任。

ハンガリー政府よりハンガリー国大十字功労勲章（同国で最高位）等、国内では旭日中綬章、文化庁長官表彰、恩賜賞・日本芸術院賞等を受賞。

2005年、社会貢献を目的としたオーケストラ「コバケンとその仲間たちオーケストラ」を設立、以来全国にて活動を続けている。

CD、DVDはオクタヴィア・レコードより多数リリース。

現在、日本フィル桂冠名誉指揮者、ハンガリー国立フィル・名古屋フィル・群響桂冠指揮者、読売日響特別客演指揮者、九響名誉客演指揮者、東京藝術大学・東京音楽大学・リスト音楽院名誉教授、ローム ミュージック ファンデーション評議員等を務める。

オフィシャル・ホームページ： http://www.it-japan.co.jp/kobaken/

●周防 亮介（ヴァイオリン） Ryosuke SUHO, Violin

1995年京都に生まれ、7歳よりヴァイオリンを始める。

2016年ヘンリク・ヴィエニャフスキ国際ヴァイオリンコンクール入賞及び審査員特別賞を受賞。その他にも日本音楽コンクールや東京音楽コンクール、ダヴィッド・オイストラフ国際ヴァイオリンコンクール、クロスター・シェーンタール国際ヴァイオリンコンクールなど、数々のコンクールで優勝や入賞の実績を持つ。 2015年「第25回出光音楽賞」、2016年「第25回青山音楽新人賞」を受賞。

12歳で京都市交響楽団との共演を皮切りに、パリ管弦楽団、フランス国立管弦楽団、フランス放送フィルハーモニー管弦楽団、パリ国立歌劇場管弦楽団、ポズナンフィルハーモニック管弦楽団、サンクトペテルブルク国立アカデミー管弦楽団、シュトゥットガルト室内管弦楽団、プラハ室内管弦楽団、アマデウスポーランド放送室内管弦楽団、NHK交響楽団、読売日本交響楽団など、数多くの国内外オーケストラと共演。また15歳で初リサイタルをおこない、清水和音や江口玲、上田晴子など第一線で活躍するピアニストと共演を重ねる。2021年5月にはオクタヴィア・レコードより初のコンチェルト・アルバム『チャイコフスキー＆メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲』をリリース。

これまでに岡本智紗子、岩谷悠子、小栗まち絵、大谷康子、原田幸一郎、神尾真由子、マキシム・ヴェンゲーロフの各氏に師事し、東京音楽大学特別特待奨学生としてアーティスト・ディプロマコースを修了。現在は江副記念リクルート財団奨学生として、メニューイン国際音楽アカデミーにて研鑽を積んでいる。 使用楽器はNPO法人イエローエンジェルより貸与されている、1678年製ニコロ・アマティ。

●東京都交響楽団（管弦楽） Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra

東京オリンピックの記念文化事業として1965年東京都が設立（略称：都響）。
現在、大野和士が音楽監督、アラン・ギルバートが首席客演指揮者、小泉和裕が終身名誉指揮者、エリアフ・インバルが桂冠指揮者を務めている。また、ソロ・コンサートマスターを矢部達哉、四方恭子、コンサートマスターを山本友重が務めている。東京文化会館、サントリーホール、東京芸術劇場での定期演奏会を中心に、小中学生への音楽鑑賞教室（50回以上／年）、青少年への音楽普及プログラム、多摩・島しょ地域での出張演奏、ハンディキャップを持つ方のための「ふれあいコンサート」や福祉施設での訪問演奏のほか、2018年からは、誰もが音楽の楽しさを体感・表現できる“サラダ音楽祭”を開催するなど、多彩な活動を展開。
「首都東京の音楽大使」たる役割を担い、これまで欧米やアジアで公演を成功させ、国際的な評価を得ている。2021年７月に開催された東京2020オリンピック競技大会開会式では、《オリンピック讃歌》の演奏（大野和士指揮／録音）を務めた。
公式WEBサイト　https://www.tmso.or.jp/